

政策分野等	2 健康・福祉	更新日	令和8年6月2日
施策等	1 健康づくりの推進と地域医療の確保	担当部	市民病院
基本的な方向性等	2 生活圏内で医療を適切に受けられる体制や救急医療体制の充実を図るほか、誰もが安心して医療を受けられるための支援を行い、社会全体で健康を支える環境づくりを推進します。		

施策を構成する事業						
番号	事業名	8年度 事業区分	事業費（千円）		事業点検 評価	担当課
			7年度 （決算）	8年度 （予算）		
1	中期経営計画の推進	継続	25,010,298	25,550,570	○	管理課
2	高度医療機器の充実	継続	(425,026)	(331,265)	◎	管理課
3	医師及び看護師等の確保・充実	継続	(109,514)	(123,213)	◎	管理課
4	救急医療体制	継続	(970,728)	(1,094,834)	○	医事課
5	地域医療連携	継続	(1,840)	(1,237)	◎	医療連携室
事業費合計			25,010,298	25,550,570		

関連する 総合計画 成果指標	指標名	直近値（年度）	目標
	急病時の対応やかかりつけ医などの医療体制に安心している人の割合（％）	58.1 (2021 年度)	70.0 (2026 年度)

総合計画成果指標や施策を構成する事業の成果に基づく効果検証			
効果 (進捗状況)	○	◎：期待する又は期待以上の成果があった ○：現状維持 △：期待する成果がなかった	
理由 (主な成果 や課題を踏 まえた効果 検証等)	高額医療機器や医師・職員数を充足させるとともに、救急科専門医の資格取得や職員への研修等を実施し、医療職員のスキルアップを図った。 紹介患者数は、新型コロナウイルス感染症の影響で令和2年度に減少したものの令和3年度以降は回復基調となり、引き続き地域医療支援病院の承認を受けている。また、救命救急センターの指定にかかる充実段階評価は引き続きA評価を得ることができ、地域の基幹病院としての体制も整えられている。 令和7年度の経常収支は約8億5千万円の損失となり、3年連続の赤字となった。人件費や材料費等の医業費用が増加したものの、医業収益の増加や国や県からの物価高騰等に伴う補助金の交付などにより、令和6年度と比べ経常収支の赤字は縮小した。令和7年度末の未処理欠損金は、約32億9千万円（計画値約13億4千万円）となった。 病床稼働率の向上、外来患者数の増加により収益は増加したものの、物価高や人件費の増加が大きく、診療報酬で費用を十分に賄い切れていない状況がある。公立病院を取り巻く経営状況は依然厳しさを増しているが、引き続き地域の医療機関との連携強化に努め、患者数を増加させるとともに赤字の縮減を図る。		
今後の 方向性 (課題解決 の方策等)	施策の取組方針	◎	◎重点・強化 ○維持 △縮小
	令和4年度に策定した、第3次春日井市民病院中期経営計画に掲げた具体的取組を実施できているか検証する。 第2診療棟や令和5年度に導入した手術支援ロボットの運用、心疾患患者の診療機能やがん治療など地域の医療ニーズに即した医療提供体制を充実させることなどにより、質の高い専門医療の充実を図るとともに、引き続き地域医療連携の強化に努める。		

関連する附属機関の意見等
今後の患者の受診動向を注視し、病床利用率の向上及び病床規模の最適化を図り、経常収支の黒字転換を目指していただきたい。

第六次総合計画 事業点検シート

事業区分	継続	年度	令和8年度		整理番号	2-1-2-1
事業名	中期経営計画の推進				最終更新日	令和8年6月2日
実施根拠	春日井市病院事業の設置等に関する条例 持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化ガイドライン				担当課	管理課
関連計画	第3次春日井市民病院中期経営計画		関連する 附属機関		春日井市民病院事業評価委員会	
総合計画 施策体系	政策分野等	2 健康・福祉			基本計画 重点方針	—
	施策等	1 健康づくりの推進と地域医療の確保				
	基本的な 方向性等	2 生活圏内で医療を適切に受けられる体制や救急医療体制の充実を図るほか、誰もが安心して医療を受けられるための支援を行い、社会全体で健康を支える環境づくりを推進します。				
目的・ 事業概要	【目的】 安定した経営のもとで良質な医療を継続して提供する。					
	【事業概要】 地域において必要な医療を安定的かつ継続的に提供していくため、春日井市民病院が基幹病院として果たすべき役割を明確にするとともに、具体的取組や数値目標を定め、健全経営と医療の質の向上を図る。					
	事業期間	令和5年度～令和9年度				
過去の経緯、 主な実績等	令和4年度	第2診療棟の開設、新型コロナウイルス感染症対応、ISO15189の認定取得 第3次春日井市民病院中期経営計画を策定 計画期間：令和5年度～令和9年度 重点取組：心疾患患者の診療機能の充実、がん治療の充実、医療情報セキュリティの強化、勤務環境の改善、医療スタッフの質の向上など				
	令和5年度	心臓病センターの整備 手術支援ロボット「Hugo」の導入 医療情報セキュリティの強化（医療情報バックアップ体制構築）				
	令和6年度	手術支援ロボットの運用 心臓病センターの開設 医療情報セキュリティの強化（ランサムウェア等への監視体制構築）				
事業費	事業費		8年度(予算)	7年度(決算)	6年度(決算)	5年度(決算)
			25,550,570千円	25,010,298千円	24,807,979千円	22,185,972千円
	特定財源	国・県支出金	33,104千円	417,365千円	60,810千円	228,252千円
		その他	1,826,346千円	1,835,920千円	1,601,442千円	1,563,032千円
	一般財源		23,691,120千円	22,757,013千円	23,145,727千円	20,394,688千円

7年度の 主な実施内容 (実績)	(実施内容・事業費等) ○泌尿器科、小児科外来の整備 患者ニーズに対応し、手狭となった泌尿器科外来を移転・拡張し、泌尿器科跡に小児科を移転する修繕を実施した。 ○経営戦略室の設置 経営戦略室を立ち上げ、収益改善を図るため、救急入院率の向上や空き病床の見える化を図った。現場の職員との連携のもと病床管理に徹底して取り組んだことで、入院患者の増加に貢献し、病床利用率は、令和6年度 80.7%から令和7年度 86.2%と大きく改善した。 その他、生成AIを活用した、患者の退院時作成資料の作業時間を短縮し、業務の効率化に貢献した。 ○手術支援ロボットの運用 手術支援ロボット「Hugo」を用いた手術の令和7年度実績は281例となった。また、新たに導入した人工関節置換術ロボティクスアーム手術支援システム「Mako」を用いた手術の令和7年度実績は101例となった。					
成果指標	指標名		目標値（年度）	6年度	5年度	4年度
これまでの 取組みによる効果 (進捗状況)	○	判断理由 及び 具体的な 成果や 課題等	判断理由 令和7年度の経常収支は、約8億5千万円の赤字となった。病床利用率が大きく向上し、外来患者数も増加するとともに、国や県から物価高騰等に伴う補助金の交付などにより、収益の増加が人件費や材料等の費用の増加を上回り、令和6年度と比べ経常赤字は縮小した。令和7年度末時点の未処理欠損金は約32億9千万円（計画値約13億4千万円）となった。 課題 患者数の増加や補助金等の緊急支援により赤字は縮小したものの現金預金残高は前年から約6億7千万円減少し、依然として厳しい経営状況となっている。令和8年度の診療報酬改定への適切な対応とともに、高い病床利用率を維持・向上させることが重要である。			
		◎：期待する又は期待以上の効果があった ○：現状維持 △：期待する効果がなかった ー：評価なし				
今後の 方向性	(課題解決のために必要な方策等) 第3次春日井市民病院中期経営計画に掲げた具体的取組が実施できているか検証し、経営の健全化を図る。 具体的には、地域の基幹病院として急性期医療の更なる充実と、地域の医療ニーズを的確に捉え、需要のある医療の提供体制を整備するとともに、引き続き地域の医療機関との連携・関係構築を進めることにより、地域の医療機関からの紹介患者を増やし、収益の増加を目指す。					
8年度の 主な実施内容	区分	(前年度からの拡充・縮小、変更・改善内容等)				
	継続	災害時やサイバー攻撃に備えた業務継続計画の策定など、第3次春日井市民病院中期経営計画に掲げた具体的取組を推進し、経営の健全化を図る。				

第六次総合計画 事業点検シート

事業区分	継続	年度	令和8年度		整理番号	2-1-2-2
事業名	高度医療機器の充実				最終更新日	令和8年6月2日
実施根拠	春日井市病院事業の設置等に関する条例				担当課	管理課
関連計画	第3次春日井市民病院中期経営計画		関連する 附属機関		春日井市民病院事業評価委員会	
総合計画 施策体系	政策分野等	2 健康・福祉			基本計画 重点方針	—
	施策等	1 健康づくりの推進と地域医療の確保				
	基本的な 方向性等	2 生活圏内で医療を適切に受けられる体制や救急医療体制の充実を図るほか、誰もが安心して医療を受けられるための支援を行い、社会全体で健康を支える環境づくりを推進します。				
目的・ 事業概要	【目的】 最新の技術を擁する医療機器を充実し、より精密で安全な検査、治療等を実施することにより、地域の医療水準を向上させるという基幹病院としての重要な役割を果たす。 また、開業医との機能分担と連携が重要となっており、医療機器の効率的な利用を図り、開業医からの検査、治療等の依頼にも適切に対応する。					
	【事業概要】 計画的に医療機器の更新、購入を行う。					
	事業期間	令和5年度 ～ 令和9年度				
過去の経緯、 主な実績等	今までの具体的な取り組み 令和元年度 磁気共鳴画像診断装置の更新 など					
	令和2年度 生化学自動分析装置、人工心肺装置の更新、検体搬送システムの導入 など					
	令和3年度 第2診療棟に設置の医療機器（血管撮影装置、手術室映像システムなど）の調達。 血管撮影装置、コンピュータ断層撮影装置の更新 など					
	令和4年度 ウォッシャーディスインフェクター、臨床用ポリグラフ、白内障手術装置、超音波画像診断装置、高圧蒸気滅菌器の更新 など 第3次春日井市民病院中期経営計画の策定に伴い、高額医療機器の更新計画を更新					
	令和5年度 手術支援ロボットの導入、磁気共鳴画像診断装置、超音波画像診断装置の更新 など					
	令和6年度 高圧蒸気滅菌器、コンピュータ断層撮影装置、放射線治療計画装置、多項目自動血球分析装置の更新 など					
事業費	事業費		8年度(予算)	7年度(決算)	6年度(決算)	5年度(決算)
			331,265千円	425,026千円	446,165千円	724,878千円
	特定財源	国・県支出金	0千円	2,676千円	34,313千円	0千円
		その他	0千円	0千円	0千円	0千円
	一般財源		331,265千円	422,350千円	411,852千円	724,878千円

7年度の 主な実施内容 （実績）	（実施内容・事業費等） 人工関節置換術ロボティクアーム手術支援システム、超広角走査型レーザー検眼鏡の導入、フラットディテクタ搭載泌尿器専用 X 線 TV 装置、術中ナビゲーションシステムの更新 など					
成果指標	指標名		目標値（年度）	6年度	5年度	4年度
これまでの 取組みに よる効果 （進捗状況）	◎	判断理由 及び 具体的な 成果や 課題等	・地域の基幹病院として高度な医療を提供するため、人工関節置換術ロボティクアーム手術支援システムを設置。 ・第3次春日井市民病院中期経営計画における医療機器更新計画を基本に、順次医療機器の更新が行われている。			
	◎：期待する又は期待以上の効果があった ○：現状維持 △：期待する効果がなかった ー：評価なし					
今後の 方向性	（課題解決のために必要な方策等） 第3次春日井市民病院中期経営計画における医療機器更新計画を基本に、その時の医療ニーズに柔軟に対応しながら計画的に医療機器を更新する。					
8年度の 主な実施内容	区分	（前年度からの拡充・縮小、変更・改善内容等）				
	継続	血管造影 X 線診断装置の更新 など				

第六次総合計画 事業点検シート

事業区分	継続	年度	令和8年度	整理番号	2-1-2-3	
事業名	医師及び看護師等の確保・充実			最終更新日	令和8年6月2日	
実施根拠	春日井市病院事業の設置等に関する条例 春日井市看護修学資金貸与条例			担当課	管理課	
関連計画	第3次春日井市民病院中期経営計画		関連する 附属機関	春日井市民病院事業評価委員会		
総合計画 施策体系	政策分野等	2 健康・福祉			基本計画 重点方針	—
	施策等	1 健康づくりの推進と地域医療の確保				
	基本的な 方向性等	2 生活圏内で医療を適切に受けられる体制や救急医療体制の充実を図るほか、誰もが安心して医療を受けられるための支援を行い、社会全体で健康を支える環境づくりを推進します。				
目的・ 事業概要	【目的】 基幹病院として、市民が適切な医療サービスを継続して安定的に受けられるよう、医師、看護師など医療職員の確保・充実を図る。 【事業概要】 医師については、大学医局へ派遣の要請を行うとともに、医学生向け就職説明会へ参加し当院のPRを行う。看護師・助産師については、専門学校や大学に対して求人活動を行うとともに、各就職説明会でのPRを行う。また、市民病院への就職を早くから希望する学生には看護修学資金を貸与し修学支援をするとともに、すべての職種の病院見学を随時実施する。 医療職員の技術・知識向上のため、学会等への参加や医療図書の購入支援等を行う。					
	事業期間	令和5年度～令和9年度				
過去の経緯、 主な実績等	● 医療職員の確保・充実に係る取組 - 医師 医学生向けの就職説明会に参加 HPや各種医療雑誌等に病院や研修環境を紹介する記事を掲載、病院見学の開催 - 看護職員等 各学校での説明会や看護学生向けの合同就職説明会に参加 看護修学資金の貸与 病院見学、病院看護師との交流会、病院体験の実施 ● 医療職員の技術・知識向上のための取組 学会参加や医療図書購入の支援					
事業費	事業費		8年度(予算)	7年度(決算)	6年度(決算)	5年度(決算)
			123,213千円	109,514千円	105,950千円	95,755千円
	特定財源	国・県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
		その他	0千円	0千円	0千円	0千円
	一般財源		123,213千円	109,514千円	105,950千円	95,755千円

7年度の 主な実施内容 (実績)	(実施内容・事業費等)					
	●医療職員の確保・充実に係る取組 医師 HP や各種医療雑誌等に病院や研修環境を紹介する記事を掲載、病院見学の実施 看護職員等 各学校での説明会や看護学生向けの合同就職説明会に参加 看護修学資金の貸与（新規貸与25人） 病院見学、病院看護師との交流会の実施 ●医療職員の技術・知識向上のための取組 学会参加 医師 398件 医療技師・看護師 186件 図書購入 164冊					
成果指標	指標名		目標値	7年度 (R8.4.1現在)	6年度 (R7.4.1現在)	5年度 (R6.4.1現在)
	医師・研修医人数		154 (R9.4.1現在)	175	171	161
	看護職員人数		594 (R9.4.1現在)	585	590	577
これまでの 取組みによる効果 (進捗状況)	◎	判断理由 及び 具体的な 成果や 課題等	判断理由 医師については、調整が困難であるものの、大学医局からの派遣などにより令和5年度から7年度までに14人増となり、目標を大きく上回るものとなっている。 看護職員については、7年度減少したものの就職説明会や各大学での説明会に積極的に参加することにより、令和9年度採用の試験の受験申込者数も増加することが予想され、第3次中期経営計画における令和9年4月1日時点の目標人数を達成する見込みである。 課題 働き方改革の推進においても医師の増員は必要となるが、目標を上回る増員については、職員給与費の増加が高度専門医療の需要増とバランスが取れているかを検討する必要がある。			
			◎：期待する又は期待以上の効果があった ○：現状維持 △：期待する効果がなかった ー：評価なし			
今後の 方向性	(課題解決のために必要な方策等) ・医師については、必要に応じ大学医局への派遣要請を行う。 ・看護師等については、採用計画に基づき採用を進めていく。 ・医療職員が研鑽を積むことができるよう学会への参加などの支援を継続して進めていく。					
8年度の 主な実施内容	区分	(前年度からの拡充・縮小、変更・改善内容等)				
	継続	採用試験を職種や経験に合わせた内容に見直すことにより、医療職員の充実を目指す。 就職説明会、病院見学会、HPでのPRなど、医療職員を確保するための取組を継続して実施する。 学会への参加支援、医学図書の購入など技術・知識向上のための支援を継続する。				

第六次総合計画 事業点検シート

事業区分	継続	年度	令和8年度		整理番号	2-1-2-4																																																											
事業名	救急医療体制				最終更新日	令和8年6月2日																																																											
実施根拠	春日井市民病院事業の設置等に関する条例				担当課	医事課																																																											
関連計画	第3次春日井市民病院中期経営計画		関連する 附属機関		春日井市民病院事業評価委員会																																																												
総合計画 施策体系	政策分野等	2 健康・福祉			基本計画 重点方針	—																																																											
	施策等	1 健康づくりの推進と地域医療の確保																																																															
	基本的な 方向性等	2 生活圏内で医療を適切に受けられる体制や救急医療体制の充実を図るほか、誰もが安心して医療を受けられるための支援を行い、社会全体で健康を支える環境づくりを推進します。																																																															
目的・ 事業概要	【目的】 地域の基幹病院として、市民がいつでも必要な医療を受けられるよう、高度で緊急性の高い専門的な救急医療を提供する救命救急センターの運営を継続する。																																																																
	【事業概要】 救命救急センターと休日・平日夜間急病診療所が隣接して設置されていることから、初期治療にあたる一次救急（休日・平日夜間急病診療所）と高度医療を担う二次及び三次救急（救命救急センター）の医療機能及び役割分担を啓発するとともに、救急医療を必要とする患者を受け入れる体制の維持及び充実を図る。																																																																
	事業期間	令和5年度 ～ 令和9年度																																																															
過去の経緯、 主な実績等	総合保健医療センターの開設に伴い、平成26年2月に救急部門を総合保健医療センター棟へ移設し、救急病床6床を設置した。 24時間体制で高度医療を総合的に提供する施設として、平成27年10月に、愛知県より救命救急センターの指定を受けている。																																																																
	【実績】 <table><tr><td>・ 令和2年度</td><td></td><td>・ 令和3年度</td><td></td></tr><tr><td>救急受入件数</td><td>22,656件</td><td>救急受入件数</td><td>25,872件</td></tr><tr><td>救急搬送受入件数(内数)</td><td>8,350件</td><td>救急搬送受入件数(内数)</td><td>9,438件</td></tr><tr><td>入院件数(内数)</td><td>4,941件</td><td>入院件数(内数)</td><td>5,133件</td></tr><tr><td>トリアージ件数</td><td>1,974件</td><td>トリアージ件数</td><td>2,736件</td></tr><tr><td>・ 令和4年度</td><td></td><td>・ 令和5年度</td><td></td></tr><tr><td>救急受入件数</td><td>27,574件</td><td>救急受入件数</td><td>27,532件</td></tr><tr><td>救急搬送受入件数(内数)</td><td>9,410件</td><td>救急搬送受入件数(内数)</td><td>11,029件</td></tr><tr><td>入院件数(内数)</td><td>5,121件</td><td>入院件数(内数)</td><td>5,781件</td></tr><tr><td>トリアージ件数</td><td>2,758件</td><td>トリアージ件数</td><td>2,359件</td></tr><tr><td>・ 令和6年度</td><td></td><td>・ 令和7年度</td><td></td></tr><tr><td>救急受入件数</td><td>25,029件</td><td>救急受入件数</td><td>24,917件</td></tr><tr><td>救急搬送受入件数(内数)</td><td>9,616件</td><td>救急搬送受入件数(内数)</td><td>10,569件</td></tr><tr><td>入院件数(内数)</td><td>5,555件</td><td>入院件数(内数)</td><td>6,227件</td></tr><tr><td>トリアージ件数</td><td>6,072件</td><td>トリアージ件数</td><td>7,263件</td></tr></table>						・ 令和2年度		・ 令和3年度		救急受入件数	22,656件	救急受入件数	25,872件	救急搬送受入件数(内数)	8,350件	救急搬送受入件数(内数)	9,438件	入院件数(内数)	4,941件	入院件数(内数)	5,133件	トリアージ件数	1,974件	トリアージ件数	2,736件	・ 令和4年度		・ 令和5年度		救急受入件数	27,574件	救急受入件数	27,532件	救急搬送受入件数(内数)	9,410件	救急搬送受入件数(内数)	11,029件	入院件数(内数)	5,121件	入院件数(内数)	5,781件	トリアージ件数	2,758件	トリアージ件数	2,359件	・ 令和6年度		・ 令和7年度		救急受入件数	25,029件	救急受入件数	24,917件	救急搬送受入件数(内数)	9,616件	救急搬送受入件数(内数)	10,569件	入院件数(内数)	5,555件	入院件数(内数)	6,227件	トリアージ件数	6,072件	トリアージ件数
・ 令和2年度		・ 令和3年度																																																															
救急受入件数	22,656件	救急受入件数	25,872件																																																														
救急搬送受入件数(内数)	8,350件	救急搬送受入件数(内数)	9,438件																																																														
入院件数(内数)	4,941件	入院件数(内数)	5,133件																																																														
トリアージ件数	1,974件	トリアージ件数	2,736件																																																														
・ 令和4年度		・ 令和5年度																																																															
救急受入件数	27,574件	救急受入件数	27,532件																																																														
救急搬送受入件数(内数)	9,410件	救急搬送受入件数(内数)	11,029件																																																														
入院件数(内数)	5,121件	入院件数(内数)	5,781件																																																														
トリアージ件数	2,758件	トリアージ件数	2,359件																																																														
・ 令和6年度		・ 令和7年度																																																															
救急受入件数	25,029件	救急受入件数	24,917件																																																														
救急搬送受入件数(内数)	9,616件	救急搬送受入件数(内数)	10,569件																																																														
入院件数(内数)	5,555件	入院件数(内数)	6,227件																																																														
トリアージ件数	6,072件	トリアージ件数	7,263件																																																														
事業費	事業費		8年度(予算)	7年度(決算)	6年度(決算)	5年度(決算)																																																											
			1,094,834千円	1,087,500千円	958,433千円	920,267千円																																																											
	特定財源	国・県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円																																																											
		その他	969,890千円	970,728千円	835,648千円	807,426千円																																																											
	一般財源		124,944千円	116,772千円	122,785千円	112,841千円																																																											

	(実施内容・事業費等)					
7年度の 主な実施内容 (実績)	令和7年度の具体的な取組み 救命救急センターとして「断らない救急」と「三次救急としての適正受診」を両立させるため、選定療養費の徴収など、医療機能の役割分担を継続して推進した。消防機関からの受入困難事案については、背景要因を共有し改善を図った。 また、効率的な院内啓発により、看護師によるウォークイン患者へのトリアージ実施率を向上させ、救急医療を必要とする患者へ優先的に提供する体制を確立した。 さらに、検査・採血・点滴等のタスク・シフト/シェア対象疾患を拡大し、引き続き医師の負担軽減を図るとともに、救命救急センターの利用者に対する診療の効率化を推進した。あわせて、救急病床の稼働率向上に取り組み、中等症から重症患者までの受入れ体制を強化した。					
成果指標	指標名		目標値（年度）	7年度	6年度	5年度
	救命救急センターの 充実段階評価		A評価	A評価	A評価	A評価
これまでの 取組みに よる効果 (進捗状況)	○	判断理由 及び 具体的な 成果や 課題等	厚生労働省による「救命救急センター充実度段階評価」において、引き続きA評価を維持している。また、消防本部救急隊員及び自衛隊員の受入れを積極的に行い、病院前救護に係る技術向上に貢献した。 【課題】 ・市民に対し、引き続き救急外来の適正受診に関する啓発を行うこと。 ・厚生労働省が定める「救命救急センター充実度段階評価」に基づき、高度で専門的な医療を即時に提供できる体制の維持・充実を図ること。 ・消防本部救急隊員に対し、患者収容から搬送までの救急活動の質向上を目指した就業時教育指導のほか、ワークステーション実習の受入れを継続すること。			
		◎：期待する又は期待以上の効果があった ○：現状維持 △：期待する効果がなかった ー：評価なし				
今後の 方向性	(課題解決のために必要な方策等) 新たな救命救急センター主任部長の着任及び麻酔科の充実を機に、救命救急センターとICUの連携を強化し、外傷患者や重症患者の受入れ体制を一層拡充する。 三次救急医療機関として重症患者を積極的に受け入れるとともに、ウォークイン患者へのトリアージを推進する。 救急医療対策委員会において救急搬送の応需状況を検証し、受入れ困難事案の分析と「断らない救急」を実現するための協議を継続する。 新主任部長による技術指導を通じ、研修医の救急医療技術の獲得と向上を図る。					
8年度の 主な実施内容	区分	(前年度からの拡充・縮小、変更・改善内容等)				
	継続	救命救急センターとして高度救急医療を行う。また、休日・平日夜間急病診療所と連携し、円滑な運用を図る。 院内講習会等を通じた医療スタッフの人材育成に努めるとともに、救急医療にかかわりの深い消防職員に対し、救急救命士の各種実習（救急救命士就業前研修、救急勉強会、救急活動事後検証、気管挿管病院実習等）を実施し、院内外における救急医療の知識・技術の向上を図る。				

第六次総合計画 事業点検シート

事業区分	継続	年度	令和8年度	整理番号	2-1-2-5	
事業名	地域医療連携			最終更新日	令和8年6月2日	
実施根拠	・春日井市病院事業の設置等に関する条例 ・春日井市行政組織規則			担当課	医療連携室	
関連計画	第3次春日井市民病院中期経営計画		関連する 附属機関	春日井市民病院事業評価委員会		
総合計画 施策体系	政策分野等	2 健康・福祉			基本計画 重点方針	—
	施策等	1 健康づくりの推進と地域医療の確保				
	基本的な 方向性等	2 生活圏内で医療を適切に受けられる体制や救急医療体制の充実を図るほか、誰もが安心して医療を受けられるための支援を行い、社会全体で健康を支える環境づくりを推進します。				
目的・ 事業概要	【目的】 地域の基幹病院として、急性期医療及び高度専門医療を担うとともに、地域における医療水準の向上に努める。また、地域の医療機関や介護サービス事業者との連携の強化を進め、患者を地域全体で治し、支える、地域完結型医療サービスの提供を推進します。 【事業概要】 医療機関の訪問や会議において、医師や医療従事者同士が顔を合わせて当院の医療機能をPRし、相互の状況や役割に対する理解を深めるとともに、信頼関係の向上に努める。 また、地域の医療従事者向けの各種研修会の実施や医療機器共同利用等を促進し、地域の医療技術の研鑽や病診連携の強化に努める。					
	事業期間	令和5年度 ～ 令和9年度				
過去の経緯、 主な実績等	地域における第一線の医療機関として位置付けられるかかりつけ医やかかりつけ歯科医を支援し、二次医療圏単位で地域医療の充実を図る病院として、平成24年9月に地域医療支援病院として承認された。 (地域医療支援病院の承認要件) 1 次のいずれかに該当 ①紹介率が80%以上 ②紹介率が65%以上かつ逆紹介率が40%以上 ③紹介率が50%以上かつ逆紹介率が70%以上 2 地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修を行わせる能力を有すること など					
事業費	事業費		8年度(予算)	7年度(決算)	6年度(決算)	5年度(決算)
			1,237千円	1,840千円	1,230千円	1,265千円
	特定財源	国・県支出金	千円	千円	千円	千円
		その他	千円	千円	千円	千円
一般財源		1,237千円	1,840千円	1,230千円	1,265千円	

7年度の 主な実施内容 (実績)	(実施内容・事業費等)					
	1 紹介率 89.95%、逆紹介率 130.37% (令和6年度 紹介率 90.64%、逆紹介率 124.45%) 2 紹介受入患者数 36,533 人(令和6年度 36,671 人) 3 「顔の見える医療連携」の会 1 回開催 参加医師(当院 33 名、診療所 92 名) (令和6年度 1 回開催 参加医師(当院 45 名、診療所 85 名)) 4 地域の医療・介護従事者を対象にした研修会 27 回開催(令和6年度 29 回開催) 5 春日井市民病院医療連携協議会 4 回開催(令和6年度 4 回開催) 6 春日井市医療連携業務検討会 2 回開催(令和6年度 2 回開催) 7 春日井市民病院訪問看護懇話会 15 回開催(うち、オンライン開催 14 回) (令和6年度 15 回開催(うち、オンライン開催 13 回)) 8 診療所訪問 延べ109 件(令和5年度 延べ100 件) 9 Tri-net かすがい導入医療機関数 122 機関(予約件数 3,195 件) (令和6年度 110 機関(予約件数 3,014 件))					
成果指標	指標名		目標値(年度)	7 年度	6 年度	5 年度
	紹介率		82.5%(令和8年度)	90.0%	90.6%	87.3%
これまでの 取組みに よる効果 (進捗状況)	◎	判断理由 及び 具体的な 成果や 課題等	これまでに実施した事業の成果により、地域医療支援病院の承認要件を大幅に上回る紹介率の実績を得ることができている。 引き続き、地域の医療機関と良好な関係を続け、地域完結型医療サービスの提供を推進していく。			
			◎：期待する又は期待以上の効果があった ○：現状維持 △：期待する効果がなかった ー：評価なし			
今後の 方向性	(課題解決のために必要な方策等)					
	当院の医療機能や新たな取り組み(ロボット手術、ペインクリニック、心臓病センター)の魅力をPRしながら地域の医療機関との良好な信頼関係を維持し、紹介率及び逆紹介率の向上や、当院入院患者の円滑な転院が可能な連携体制の構築を図っていく。					
8年度の 主な実施内容	区分	(前年度からの拡充・縮小、変更・改善内容等)				
	継続					